

地域女性活躍推進交付金実績報告書(市町村分)

市町村名:滋賀県甲賀市

1. 事業名	女性の活躍推進事業
2. 実施期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日
3. 事業の趣旨・目的	企業・事業所の働き方改革、ワーク・ライフ・バランスへの主体的な取組を促し、女性の「就労したい」という希望の実現により、社会に埋もれている女性の能力が発揮されることで、本市の地域・経済の活性化と好循環を生み出すきっかけとする。 市内企業・事業所に向け、「イクボス宣言」の実施の推進をすることで、誰もが働きやすい職場環境を整え、誰もが働き続けることができる企業・事業所の増加をめざす。また、すでにイクボス宣言している企業・事業所に対し、企業意識調査を実施することで現状を知り、専門家による助言を行うことで、より「働き方改革」「ワーク・ライフ・バランス」等についての理解が深まり、働き方改革や職場の環境整備を促進し、優秀な人材の確保と女性の就業率の向上につながる。さらには、イクボスKOKAネットワークの組織拡大と、年間を通した継続性のあるステップアップセミナーや意見交換会、先進地研修などを実施することで、管理職や経営者の意識改革を図るとともに、管理職への女性の登用を推進する。 また、昨年度に引き続きイクボスKOKAネットワークと区・自治会、自治振興会や各学校のキャリア支援担当者、地域、学校の連携を強化し、若者の定住促進と企業の人材不足の解消、職場や地域における女性の参加、役員への登用促進を図る。 併せて、多様な働き方の一つである「起業」の普及促進や「起業」へのモチベーションの向上、事業継続への支援をすることで地域活性化を図る。また、多様な働き方の提案や企業をめざす女性、就労したい女性など、同じ悩みや思いをもつ仲間との交流の場を提供することなどにより、女性の起業、キャリアアップ、キャリア継続をさらに促進する。
4. 事業内容	1. ワーク・ライフ・バランス推進事業 ①専門家派遣事業 各企業・事業所が抱える悩みや課題の解決とイクボスの経営の推進を図るため、市内企業・事業所6社へ専門コンサルタントが個別訪問し、現状のヒアリングから課題や問題点を抽出し、解決に向けてのコンサルティングや社内研修を行った。 ②イクボス展開セミナー事業 8月19日、9月18日、10月9日に、「女性のためのステップアップセミナー」「経営者セミナー」「女性のデジタル人材育成セミナー」を主題としたイクボス展開セミナーを実施した。参加企業は3日間で、延べ13社15人であった。 ③イクボスKOKAネットワーク事業 9月18日にイクボスKOKAネットワーク全体会議を行い、加盟企業間で人材不足に関する課題や対策を共有し合って解決策を見出すことを目的とした意見交換の機会を設けた。10月19日には加盟企業4社が、地域のイベント「いわがみつなぐりの日」の運営をサポートした。 2. 女性の起業・キャリアアップ支援事業 ①女性のためのオンライン起業相談 6月から毎月第2・3・4火曜日に市内で起業したい、起業している女性を対象に、女性相談員によるオンライン起業相談を実施した。(利用者数:38人、延べ85人) 起業相談の利用者には、甲賀市商工会の女性創業セミナー、創業塾への参加を促し、起業に向け、商工会と連携し伴走支援を行った。(創業セミナー等受講者数:1人) ②COMACHI会(セミナー・交流会) 7月から10月まで毎月第4木曜日にオンライン起業相談利用者を対象に、託児付きのセミナーと交流会を実施した。甲賀市商工会や支援機関担当者がCOMACHI会に参加し、支援機関と起業女性の支援体制を構築できた。(参加者:32人、延べ67人) ③COMACHIステップアップ講座(COMACHI+) COMACHI会参加者の中で更なる事業拡大を目指す4名を対象に、ビジネスモデル・事業計画書作成の支援を行った。また、ビジネスプラン発表会(LED関西)のエントリーならびにファイナリスト選出に向けてセミナーや個別支援を実施した。 ④女性のキャリアアップ支援事業 11月から1月まで就労に困難を抱える女性を対象に、託児付きのセミナーを実施した。(参加者数:8人、延べ27人)また、来年度のインターンシップ実施に向けての第一歩として、市内企業5社との意見交換会を開催した。 ⑤女性のキャリアアップ支援企業インターン構築 女性のキャリアアップ講座の参加社者を対象に行うインターンシップを実施に向けて、受入企業の選定およびヒアリングを行い、必要書類等の作成を行った。
5. 事業の効果	1. ワーク・ライフ・バランス推進事業 ・専門家派遣事業では、現状のヒアリングから課題を明確化し、社内研修の講師としての派遣や企業内の意識改革・業務改革を行ったことで参加企業から「ハラスメント対策やコンプライアンス研修の依頼先が見つからず長年課題となっていたが、本事業への参加を通じてその問題が解消された」との声が寄せられた。 ・イクボス展開セミナー事業では、病気の経験を持つ女性がゲストスピーカーとして自身の体験を紹介し、受講者が同様の状況に直面した際に参考となる視点や知見を得られる内容となった。また、女性の就労継続を支えるために、企業として求められる姿勢や取り組みについて、経営者・管理職が学ぶ機会ともなった。さらに、デジタル人材育成をテーマとしたセミナーでは、IT・DX化の専門家が講師を務め、パソコンを用いた実践的なスキル指導を行ったことで、専門家派遣事業への参加にもつながった。 ・イクボスKOKAネットワーク事業では、市内企業・事業所の経営者や管理職が集まり、各社の人材確保の現状と課題を情報共有し、SNSを活用した採用に成功している企業の経営者を中心に活発な意見交換が行われ、人材確保を目的としたイクボスKOKAネットワーク加盟企業の動画制作を行うことを決めた。イクボスKOKAネットワークのHPに今年度の専門家派遣事業の動画を掲載をすることで、対外的に、ネットワーク企業の業務効率化の工夫等のアピールを行った。また、地域連携事業として、地域の事業にイクボスKOKAネットワーク参加企業が運営協力を行い、地域と企業の連携を強化しながら地域住民に対して企業の事業周知を行うことができた。 2. 女性の起業・キャリアアップ支援事業 ①オンライン起業相談では、昨年度より引き続き相談を行った人数が24名であり、単発的な支援ではなく伴走支援を望む傾向が高いことがわかった。起業段階に応じたきめ細かい相談により、これまで趣味の延長で活動していた方や、漠然と起業したいが何から始めたらいいかわからないといった相談をしていた方が、起業後の事業展開を行うために資格を取得する、起業家の集まりに加わり人脈を広げる、集客のためにSNSを始める、ビジネスモデルを組み立てる、販路について考える等々、精力的に行動されるようになった。オンラインという手法により気軽に相談ができたことと、いつ相談申込をしても同じ人が対応してくれるという安心感と信頼感が構築できたため、高いリピート率と満足度に繋がった。 ②COMACHI会では、起業や事業継続に必要な営業力やビジネスマナー、実務に必要な資金調達・管理方法等、具体的なスキルを学ぶことができて満足だったという声が多くあった。また、参加者主導の自主勉強会が開かれ、これまでのつながりが継続的・発展的な動きとして広がっていることが確認でき、単なる“学びの場”にとどまらず、女性たちが互いを認め合い、支え合いながら前に進む“コミュニティ”として育っていることが確認された。 ③COMACHI会+では、COMACHI会の参加者対象に、事業の拡大に繋げるためにセミナーや個別支援を実施した。事業計画書の作成講座では、事業の方向性や目標を再確認し、具体的な収支計画に見通しを立てられる機会となった。また、参加者全員がビジネスプラン発表会のエントリーを行い、内2名はセミファイナリストに選ばれた。ビジネスプラン発表会に参加することで、今まで関わる事がなかった市外の女性起業家とも交流することができて、販路拡大の機会となった。 ④女性のキャリアアップ支援事業では、キャリア形成に悩む女性を対象に、自己理解を深め、強みを発見することを目的とする講座を実施した。今まで気づくことができなかった自分の強みを講師や他の参加者に発見してもらうことで自信が付き、今まで踏み出せなかった一歩を踏み出して行動する参加者もみられた。 ⑤女性のキャリアアップ支援企業インターン構築では、参加者と市内企業との意見交換会を実施した。これにより、就労を希望する女性の率直な意見を企業側が直接把握できたほか、企業が求める人材像について参加者へ伝える機会を創出することができた。

	5ー2. 効果検証の概要	1. ワーク・ライフ・バランス推進事業 ・専門家派遣事業では、派遣先の企業のアンケートの中で「今までは社内でこういった研修を実施する機会がなかったため、社員同士で価値観のすり合わせをすることができた」との声があった。 ・イクボス展開セミナー事業では、ゲストスピーカーが自身の体験を語ることで、女性が就労継続していく上で衝突する障壁を乗り越えるための企業としての在り方や、女性自身のモチベーションの保ち方を参加者に与えることができた。 ・イクボスKOKAネットワーク事業では、人材確保のために、従来の採用活用のみならずSNSを活用した採用活動の成功例を伝えることでネットワーク加盟企業の経営者・管理職に必要性和有効性を感じてもらえた。 2. 女性の起業・キャリアアップ支援事業 ・オンライン起業相談の参加者のうち2名が起業され、支援事業として成果を上げていると考えられる。県内全体の女性起業率が、全国平均を下回るなかで、女性起業支援の役割はより重要性を増している。 ・COMACHI会の参加人数は延べ67人で、参加者の関心に応じた学びの機会を提供した。さらに、参加者同士のコミュニケーションの輪も広がり、参加者間で仕事を依頼するなどの動きも広がった。 ・女性のキャリアアップ講座に8人が参加し、講義とグループワークを通じて、自身の価値観や今後のキャリアについて考える機会を提供した。 ・女性のキャリアアップ支援企業インターン構築では、受入可能な企業の選定および書類の作成を行い、制度として運用可能な体制を整備することができた。					
6. 目標達成度及び 達成状況に対する評価	(1) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
		①イクボスKOKAネットワーク参加企業数	(アウトプット)	25社	(令和7年度)	21社	(令和7年度)
		②オンライン起業相談の実利用者数		①50人		①38人	
		③オンライン起業相談利用者のうちCOMACHI会への実参加者数		②40人		②32人	
		評価		評価の理由、事情等			
		3.未達成		・イクボスKOKAネットワーク事業参加企業数は、令和7年度末までに25社に対する目標に届かなかったため、引き続き拡充に向け取組を進める。 ・オンライン起業相談の利用者数は38人であり、目標値の50人には届かなかったものの、事業実施後のアンケートでの満足度はほぼ100%で継続を望む声が多く寄せられた。 ・オンライン起業相談利用者でCOMACHI会への実参加者は32人であり、目標値の40人には届かなかったものの、事業実施後のアンケートでは、相談をする中で方向性を見出すことができて事業の具体的な進め方を学ぶことができている、モチベーションを維持するための心の支えになっているという声が多く寄せられた。			
	(2) 事業KPI	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
		①女性の管理職率	(アウトカム)	①14%	(令和7年度)	①10. 2%	(令和6年度)
		②30歳から39歳までの女性の就業率		①75%		①71.1%	(令和7年度)
		③事業利用者のうち起業した人数		②5人		②2人	
		評価		評価の理由、事情等			
		3.未達成		・女性の管理職率は、令和7年度末までに14%以上にする目標には届かなかったが、今後も引き続き経営者や管理職の意識改革を図るとともに、管理職への女性の登用を推進する。 ・女性の就業率は、目標値の75%には届かなかったが、引き続き働き方改革、ワーク・ライフ・バランス、女性活躍への主体的な取組を促し、就労に繋げる。 ・事業利用者のうち起業した人数は2人であり、目標値の5人には届かなかったものの、毎年起業される方がおり、今後も起業家の育成に期待できるとともに、事業実施後のアンケートでは継続的支援を望む声が多く寄せられた。			

7. 今後の課題		1. ワーク・ライフ・バランス推進事業 イクボスの経営、女性活躍、ワーク・ライフ・バランスについて継続して発信を行い、市内企業の管理職・従業員に学んでもらうことで働きやすい職場環境の整備を促進して、女性の就労継続や管理職登用につなげる必要がある。 2. 女性の起業・キャリアアップ支援事業 オンライン起業相談、COMACHI会のアンケート結果では、起業の有無に関わらず継続を希望している声が多く、心の拠り所とされている方が多数おられた。多様な働き方が求められている時代の中で、起業を選択肢として検討する女性に対し、より具体的かつ実践的な支援を提供できる環境を整備をするための支援内容の拡充が必要である。 女性のキャリアアップ支援事業のアンケート結果では、働き方に迷いを抱える女性が多いことが確認された。講座の継続参加により一歩を踏み出す参加者が確認されたため、このような機会を継続的かつ安定的に提供する仕組みづくりが求められる。							
8. 事業の実施体制 (連携の状況)		・甲賀市企業人権啓発推進協議会:事業共催、事業チラシの配布等 ・甲賀市工業会:事業参加、事業協力、事業チラシの配布等 ・甲賀市商工会:事業参加、事業協力、事業チラシの配布等 ・イクボス宣言企業:イクボス展開セミナー参加、イクボスKOKAネットワークへの参加 ・イクボスKOKAネットワーク企業:事業参加、事業広報 ・子育て支援団体・女性活動団体:事業参加、事業広報 ・市内金融機関:事業参加、協力、事業チラシの配布・掲示 ・市内で起業している女性:事業参加、事業広報							
9. 経費の内訳 (単位:円)									
事業 番号	個別事業名	公募要領の 取組例	予算措置年 度	交付決定事業	総事業費 (A=B+C+D)	本交付金 (B)	他の寄付金等 (C)	自己資金 (D)	備 考
1	ワーク・ライフ・バランス 事業	2(1)	7年度当初予 算	6年度補正予 算	3,378,008	1,689,000		1,689,008	
2	女性の起業・キャリアアッ プ支援事業	4(2)	7年度当初予 算	6年度補正予 算	5,981,510	3,750,000		2,231,510	
					0				
					0				
	合 計				9,359,518	5,439,000	0	3,920,518	
10. 担当者名及び連絡先		所属部署:産業経済部 商工労政課 女性活躍推進室 氏名:松井 多香子、鶴飼 真理子 電話番号:0748-69-2189 電子メールアドレス:koka10351000@city.koka.lg.jp							
11. 事業実施及び連携工程		様式4-2-1に記載							

注1)「9. 経費の内訳」の「事業番号」及び「個別事業名」は、様式4-1-2と整合性をとって記載してください。

注2)「9. 経費の内訳」の「公募要領の取組例」は、公募要領第2【取組例】(1)～(5)、第4【取組例】(1)～(5)、第5【取組例】(1)～(9)、第6又は第7【取組例】(1)・(2)から選択してください。

注3)「9. 経費の内訳」の「予算措置年度」は、実施主体における予算措置状況について「6年度補正予算」、「7年度当初予算」のいずれかを記載してください。

注4)「9. 経費の内訳」の「交付決定事業」について、「6年度補正予算」、「7年度当初予算」のいずれかを記載してください。

注5)「9. 経費の内訳」において「他の寄付金等」がある場合は、備考欄に内容が分かるよう記載してください。

注6)本様式はA4で3枚以内としてください。また、適宜参考となる資料を添付してください。